

いろいろなものを貼って（コラグラフ） 凸版・凹版

□主に扱う学年・時間

4～6年 6～8時間

□版画の特徴

この版画は県内でもすばらしい実践例があるが、本稿ではごく初歩的なやり方を中心に紹介する。より具体的な手順を寄稿いただいた玉湯中学校の実践も参照いただきたい。

◇いろいろなものを貼って版を作る版画（コラグラフ）は「指導者の数ほど」いろいろなやり方がある

○厚紙の上に紙、ひも、布、いろいろな素材を貼って版をつくり写し取る版画

○凸版刷り、凹版刷り、凹凸版刷り

3種類の刷り方ができるので
学年によって工夫するとおもしろい



○ここでは凸版・凹凸版刷りを紹介する

□準備する材料・用具

- ①版をつくるボール紙など ②貼り付けるいろいろな素材（厚くないもの：2mm以内）
- ③刷り紙（和紙など絵の具を吸いやすい紙） ④のり ⑤木工用ボンド（速乾性）
- ⑥はさみ ⑦水生・中性版画インク ⑧バレン ⑨スポンジローラー ⑩プレス機
- ⑪インク練り板 ⑫水性ニス ⑬刷毛 ⑭霧吹き ⑮ほろ布 ⑯新聞紙

□授業のながれ

授業のながれ（子どもの活動）	教師の準備・支援・ワンポイントアドバイス
<p>1 コラグラフについて知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コラグラフってなーに？ ・いろいろなものを貼り付けて写す版画 紙、ひも、布、網、段ボール <p>2 表したいイメージを考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花が咲いてるイメージにしよう 	<p>1 参考作品鑑賞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上級生が刷った版画があれば参考に ・先生が刷ってみせる ・貼り付けるものによって刷り上がりの 感じが違うので、いろいろなサンプルを 準備しておく

3 版をつくろう

ボール紙にいろいろなものを貼る

- ・花の感じは何を貼ったらいいだろう



- ・花のまわりにも何か貼ってみよう
- ・ボール紙(台紙)にメディウム(下地剤)を塗ってでこぼこの変化を出すのもおもしろい

4 3の接着剤が固まったら、版に水性ニスを塗る(ラッカープレーなどを塗って版を強固にする方法もある)

- ・ニス用の柔らかい刷毛を使って
- ・ニスを乾かす(30分ぐらい)

5 作品を刷る 協力して!

《凸版刷り》

本稿ではバレンで刷る



- ①机の上に新聞紙を敷く
- ②インク練り板、インクを準備する
- ③新聞紙の上に版をのせる

- ④版にローラーでインクをつける
 - ・本稿では単色で刷る(凸版刷り)

- ⑤④の版の下にきれいな更紙を敷く
 - ・④で新聞紙が汚れているので

- ⑥版の上に刷り紙をのせる

3 版にする紙はボール紙が最適

- ・あまり厚いものを貼ると刷れなくなるので厚さは2mm程度までのもの
- ・プレス機を使って刷る場合は、あまり柔らかすぎるもの、すぐこわれるものなどは貼らないこと
- ・紙を貼るときはのり付けする
- ・堅いものや厚いものは木工用ボンドで
- ・貼り付けたら画板などを版の上へのせ、その上に本などの重いものをのせてしばらく押さえたままにしておく
- ・メディウムはぬらなくてもよい

4 版を強くし、刷ったとき版の細かいところが剥がれないようにするため、版に水性ニスを塗る

- ・版のボンドやのりが固まってから塗る

※4の行程は、作品を刷る枚数が3~4枚程度なら特に行わなくてもよい

5 刷り

- ①インクは水生、中性
 - ・いろんな色のインクを使うとより満足感のある版画ができる。

※本格的なコラグラフは油性インクを使うが、学年を考えれば、水性、中性でよい

- ⑥刷り紙の大きさは版より四方5cm以上大きいもの

- ・刷ったとき多少ずれても大丈夫
- ・紙の周りが汚れても余裕がある

- ⑦刷り紙が動かないように、手で押さえながらバレンで刷る
- ⑧刷り紙を半分あげて刷り具合をみる
 - ・刷りが悪ければもう一度インクをつけ、もう半分も同じように
 - ・2人で協力しながら刷るとよい
- ⑨さあ 刷り上がり！・・・やったあ

- ⑩後片付けをして
友達を手伝おう

少し発展させて・・・

《凹版凸版同時刷り》（プレス機で刷る）

- ①机の上に新聞紙を敷く
- ②インクを準備する
- ③刷り紙の準備
- ④刷り紙を濡らして、新聞紙にはさんでおく（刷る5分ぐらい前に）
- ⑤新聞紙の上に版をのせる
- ⑥版にローラーでインクをつける
- ⑦その上をタンポやダバーですり込む
 - ・版の凹部にインクをすり込む
- ⑧すり込んだらきれいな布で凸部のインクを拭き取る
- ⑨⑧の版にローラーで明るい色のインクをつける
- ⑩プレス機の準備



- ⑪プレス機に敷いた敷き紙の上に、版より大きめの見当紙を置く
- ⑫その上に⑧の版を上向きにのせる
- ⑬その版の上に③で湿らしておいた刷り紙を静かにのせる

- ⑦丸く、全体に刷る
 - ・片方の手を刷り紙にのせてずれないように押さえながら



（葉っぱを貼り付けてみた）

- ②濃いめのインク 黒、紺、焦げ茶など
 - ※この刷り方は、水性、中性インクでもよいが、やはり油性インクの方がはっきりときれいに刷れる
- ④霧吹きなどで濡らす
- ⑦凹版凸版同時刷り
 - 一度に凹版凸版両方の刷りをする
 - ア 凹部に黒・紺・こげ茶など濃いめのインクをすり込み、凸部をふき取る
 - イ その上に黄・黄緑・水色など明るいインクをローラーでつける
 - ウ プレス機で刷る
 - ！凹部凸部とも色がつく

- ⑩プレス機の鉄板の上に刷り紙より大きい敷き紙（画用紙、ボール紙など）を貼り付けておく
 - ・その上にきれいな見当紙を敷いておく

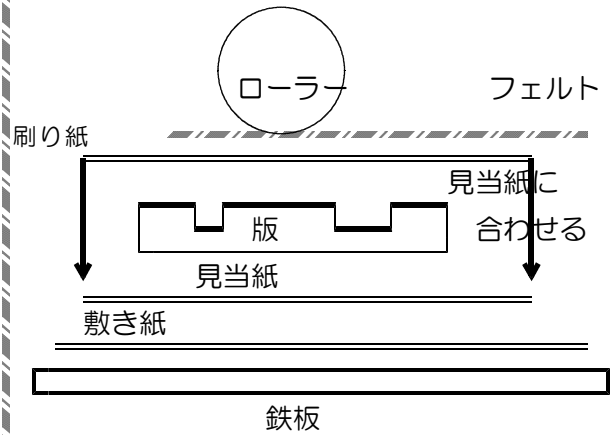
- ⑭その上に更紙やボール紙をのせる
- ⑮フェルトをかぶせて
- ⑯ローラーをまわす（往復しない）
- ⑰フェルトをあげて刷り紙をとる
- ⑱作品を作品置き場に置いて保管
- ⑲後片付けをして友達を手伝おう

⑳鑑賞会



凹凸一度に刷ってみた

- ⑬刷り紙は刷る面が版に向くようにのせる
 - ・斜めになったり、刷り紙からはみ出ないように、版の下に敷いた見当紙にあわせるようにのせると曲がらず刷れる



※プレス機の圧は凸版刷りよりやや強めに調整しておく

※作品の縁を5mm程度残してきれいに切り取る
台紙に貼って完成